

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月6日

上場取引所 大

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川端 敏
 (氏名) 後藤 扶美彰

TEL 011-643-3301

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	10,617	△0.6	45	△31.1	20	△42.0	△48	—
24年2月期第1四半期	10,684	2.0	66	—	34	—	△0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	△7.73	—
24年2月期第1四半期	△0.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	18,920	4,016	21.2	635.14
24年2月期	18,846	4,115	21.8	650.93

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 4,016百万円 24年2月期 4,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,067	1.6	243	△10.1	190	△8.1	85	△17.5	13.44
通期	43,750	0.7	511	0.1	430	5.4	190	24.7	30.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	6,323,201 株	24年2月期	6,323,201 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	— 株	24年2月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	6,323,201 株	24年2月期1Q	6,323,201 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成24年3月1日～平成24年5月31日)におけるわが国経済は依然として厳しい状況にあるなか、復旧・復興需要等を背景として緩やかに回復しつつありますが、中国経済の成長率の鈍化や欧州政府債務危機を巡る不安とともに、電力供給の制約やデフレの影響及び雇用情勢の悪化なども懸念される状況でありました。

スーパーマーケット業界におきましては、増税問題や電気料金値上げなどのお客様の生活防衛意識を高める厳しい状況が続き、また一方では異業種競争を含めた低価格競争は激しさを増し、業界の再編・淘汰は更に進みつつありますが、「シニアシフト」「都心シフト」をキーワードに、団塊世代特需を中心とするシニア消費の増大への対応や、高齢者人口が集中する都市部での小型食料品スーパーの出店が進行するなど、新たな事業戦略も展開されております。

このような状況のなか、当社におきましては、消費の低迷や競争の激化への対処とともに、「シニア消費」及び「内食需要」の増大に的確に対応すること、「低価格競争」よりむしろ「鮮度」「品質」「おいしさ」において、お客様からの評価や信頼を得ることを重視してまいりました。

販売政策の面におきましては、商圏エリア内での、「鮮度」「品質」「品揃え」「サービス」で地域一番を目指すこととし、お客様の目線を常に意識したサービスを心掛けてまいりました。

商品政策の面におきましては、当社が推奨するナチュラルラッキー(オーガニックなどの健康と安心に特化したアイテム)とテイスターラッキー(おいしさと品質に特化したアイテム)の商品コンセプトを反映させた品揃えを継続してまいりました。

店舗運営の面におきましては、最重要課題として在庫の適正化により、鮮度の向上やロスの減少による利益率の改善を図ること及び作業内容の見直しと適正な人員配置により生産性の改善に努めてまいりました。

また管理面におきましては、コンプライアンス意識の徹底やリスク管理システムの精度向上を図り、法令に則った業務及び財務報告が適正に実行されるように努めてまいりました。

当第1四半期累計期間においては、当初は昨年の震災特需の反動により、客単価が昨年と比較して低下傾向にあるなか、売上高は相場高の青果部門が牽引する形で推移しておりました。しかし、4月上旬の降雪の影響やGW後半以降の悪天候及び低温多雨の天候が続いたことにより、運動会需要を含めた行楽需要の減少に伴う来店客数の減少が大きく影響し、売上高は前年同四半期と比較し減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高10,617,852千円(前年同期比99.4%)、経常利益は20,124千円(前年同期比58.0%)、四半期純損益につきましては、欧州債務問題の影響による株価の低迷のため投資有価証券評価損37,199千円を計上したことなどにより、48,897千円(前年同期は四半期純損失375千円)の損失となりました。

なお、当第1四半期累計期間における新設・閉鎖店舗はなく、3月に新琴似四番通店を、4月に美幌店を改装しております。

平成24年5月31日現在の店舗数は、34店舗であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し73,566千円増加し18,920,202千円となりました。

その主な要因は、流動資産において商品及び製品が104,222千円増加したこと、固定資産において建物が97,410千円増加したことなどによるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し173,441千円増加し14,904,100千円となりました。

その主な要因は、流動負債において短期借入金が257,832千円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加が348,223千円、賞与引当金の増加が102,988千円であったことなどによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し99,874千円減少し4,016,101千円となりました。

その主な要因は、その他有価証券評価差額金が12,254千円増加したものの、株主配当による減少63,232千円を含む利益剰余金が112,129千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、急速な消費回復は当面望めないことから、今後も引き続き厳しい状況が続くものと予想しております。

第1四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成24年4月11日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,429,763	1,342,805
受取手形及び売掛金	245,826	300,387
商品及び製品	1,634,818	1,739,040
原材料及び貯蔵品	71,564	62,091
前払費用	121,948	115,990
繰延税金資産	86,997	103,965
未収入金	393,742	242,357
その他	10,637	8,005
貸倒引当金	△540	△540
流動資産合計	3,994,759	3,914,104
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,120,728	9,199,147
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,624,645	△5,605,653
建物(純額)	3,496,083	3,593,494
構築物	573,760	570,690
減価償却累計額及び減損損失累計額	△428,201	△430,399
構築物(純額)	145,559	140,290
車両運搬具	10,322	10,322
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,668	△9,760
車両運搬具(純額)	653	562
工具、器具及び備品	472,485	464,244
減価償却累計額及び減損損失累計額	△436,802	△427,865
工具、器具及び備品(純額)	35,683	36,378
土地	7,636,809	7,636,809
リース資産	1,136,504	1,255,793
減価償却累計額及び減損損失累計額	△559,511	△617,454
リース資産(純額)	576,992	638,339
建設仮勘定	2,026	2,026
有形固定資産合計	11,893,809	12,047,901
無形固定資産		
ソフトウェア	3,851	3,474
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	22,080	21,702
投資その他の資産		
投資有価証券	171,645	153,854
出資金	662	659
長期前払費用	50,361	49,159
繰延税金資産	438,339	429,040
差入保証金	2,165,132	2,194,504
保険積立金	76,190	77,811
投資その他の資産合計	2,902,332	2,905,029
固定資産合計	14,818,221	14,974,633
繰延資産		
社債発行費	33,654	31,464
繰延資産合計	33,654	31,464
資産合計	18,846,636	18,920,202

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,682,188	3,030,412
1年内償還予定の社債	600,000	600,000
短期借入金	3,577,662	3,319,830
1年内返済予定の長期借入金	881,815	932,575
リース債務	223,205	239,859
未払金	325,399	269,039
未払費用	263,432	323,897
未払法人税等	186,077	34,962
未払消費税等	85,133	60,794
前受金	20,501	17,181
預り金	81,555	98,258
賞与引当金	122,392	225,380
流動負債合計	9,049,364	9,152,193
固定負債		
社債	1,050,000	1,050,000
長期借入金	2,715,499	2,724,548
リース債務	399,804	445,868
退職給付引当金	873,444	883,371
役員退職慰労引当金	236,513	238,651
長期預り保証金	361,201	364,406
資産除去債務	44,578	44,746
その他	252	315
固定負債合計	5,681,294	5,751,907
負債合計	14,730,659	14,904,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	673,544	561,414
利益剰余金合計	3,138,544	3,026,414
株主資本合計	4,131,567	4,019,438
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,590	△3,336
評価・換算差額等合計	△15,590	△3,336
純資産合計	4,115,976	4,016,101
負債純資産合計	18,846,636	18,920,202

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	10,684,536	10,617,852
売上原価	8,064,837	8,005,334
売上総利益	2,619,698	2,612,517
営業収入		
不動産賃貸収入	75,643	74,264
運送収入	201,508	202,434
営業収入合計	277,151	276,698
営業総利益	2,896,850	2,889,216
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	129,157	131,513
配送費	169,383	166,261
販売手数料	188,539	138,617
給料及び手当	499,015	496,659
賞与引当金繰入額	89,862	102,988
退職給付費用	29,757	28,666
役員退職慰労引当金繰入額	2,120	2,137
雑給	616,062	627,741
水道光熱費	207,422	199,153
減価償却費	120,608	131,585
地代家賃	240,274	239,531
その他	538,198	578,591
販売費及び一般管理費合計	2,830,402	2,843,447
営業利益	66,447	45,769
営業外収益		
受取利息	2,704	3,340
受取配当金	2,768	3,424
債務勘定整理益	716	342
雑収入	10,325	12,566
営業外収益合計	16,515	19,673
営業外費用		
支払利息	45,614	42,503
社債発行費償却	2,190	2,190
雑損失	455	625
営業外費用合計	48,260	45,319
経常利益	34,702	20,124
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,514	—
投資有価証券評価損	293	37,199
固定資産除売却損	720	18,175
特別損失合計	27,528	55,374
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	7,173	△35,250
法人税、住民税及び事業税	40,751	28,469
法人税等調整額	△33,202	△14,822
法人税等合計	7,548	13,646
四半期純損失(△)	△375	△48,897

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。